

「“応援合戦”の真剣勝負挑む」

僕は今年の体育大会で行われる菊鹿中伝統の「応援合戦」の白団団長になりました。僕は大きな声も出ないし、人前で何かを発言するのは得意ではありません。しかし、今のままでいいのかと思い、自分から団長になりました。

そして、第一の試練がありました。それは結団式です。話の苦手な僕は声も小さく、話にまとまりがなく、あまり良い出来ではありませんでした。でも、そういう失敗の経験や、先生方からのアドバイスのおかげで、歴代団長の先輩方にはまだ全然及ばないけれど、前よりは声の大きさ、話のまとめ方がよくなったんじゃないかと実感しています。

「応援合戦」の名の通り、紅団と本気で戦います。時間はたったの5分です。その5分に、どれだけ真剣に取り組んでいくかで、体育祭の成功、応援合戦の成功が決まります。紅団、白団を超えて、中学校最後の体育大会を、記憶に残る素晴らしいものにして終わりたいと思います。